



元気なコミュニティだより

二宮町百合が丘 2-29-6 (老人憩いの家) 090-5211-6891 <https://gen-comi.jp>

「生涯学習」大磯と共催

第1回は9/19、ラディアンで

元気なコミュニティ協議会は、主力の生涯学習講座を大磯町の町づくり団体と共同で開催する。連携先は一般社団法人・海鈴大磯(富山昇代表理事)で、9月に初の共催講座をラディアンで行う。今後も、両町住民にとって共通の関心事をテーマにした講座などを、年数回をめぐりに開く方向で調整している。

9月19日に開催する初の共催講座は、「もっと魅力あるエリアへー二宮・大磯への提案」(仮題)。猪股篤雄・東海大客員教授(元県住宅供給公社理事長)を講師に迎え、自然環境や生活圏、地域課題などが共通する西湘エリアの将来方向について提案してもらう。意見交換の場を設ける。参加者は50~60名を見込んでおり、ゲンコミ、海鈴大磯はそれぞれの町から参加者を募る。

海鈴大磯は大磯コミュニティカレッジの開催に参画する一方、町外移住者の受け入れや地域おこし活動に取り組んでいる。ゲンコミとは、国交省の助成を受けるR4年度のお試し移住事業を両町で分担開催することで合意済み。今回はこれを生涯学習領域にも広げることになった。

第2回以降の展開については固まっていないが、隣接エリアとしての共通課題が多いことから、テーマ設定、広報PR次第では、両地区の住民にとって学びの機会が増えることが期待できると見ている。

裏面に、ヤマユリ スナップショット

23日(土)から始まった友情の山のヤマユリ公開が順予定通り進んでいる。初日の出足は芳しくなかったが、翌日から持ち直しており、最終の26日(火)まで悪天候がなければ、昨年の入場者550人を上回る可能性もある。開催初日、築取正通さん(百合が丘1丁目)が撮影したヤマユリの咲きっぷりは裏面に。

10月から スマホ教室 スタート

ゲンコミ生涯学習部会(山本正博部会長)は10月から、スマホの活用を学ぶ「スマホ教室」を始める。月2回・各2時間学習し、3カ月でメール、SMS、写真など12テーマをこなすプログラムを検討中。会場は県住宅供給公社のコミュニティダイニングを利用することで了解を得ており、9月にも受講者を募集する。

デジタル化の波がどんどん生活の中に入る中でスマホの活用はどの世代にとっても重要テーマ。ゲンコミでは、この分野が生涯学習の重要テーマになると見て、技量アップの場を設ける準備を進めている。教室のスタートまでには講師、アシスタントの確保、テキスト作成、受講料などの詰めが残っており、8月中にも最終案を決める。



令和4年7月末 友情の山のヤマユリ

「ユリの女王」ヤマユリは、今年も一色小友情の山で華麗に花開きました。

地域の有志が細々と世話をしてきたのを再生協議会が引継ぎ、それをさらにゲンコミが継承しています。今年梅雨明けが早かったせいか、心持ち開花が早かった感じがあります。株数は正確には数えていませんが、毎年少しずつしか増えていないようです。ただ、昨年に比べて背丈が高く、つぼみの数が多い株が目立つような気がします。

何せ、園芸種とは違って、種が根付いてから開花まで早くても5年と言われる植物ですから、山全体が群生地になるのは相当先になることでしょう。我々も急くことなく、じっくり腰を据え、二宮のこの稀少な群生地を守り、育てていきます。

百合が丘の写真愛好家・築取正通さんが撮った7月23日のヤマユリの姿をご覧ください。

(ゲンコミ・友情の山部会長 小野寺佑介)

